

イペロアメリカ言語学科 スペイン語専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】** : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基盤教育科目		【CP1】大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」: アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ(基礎)」					
				【CP1】人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]					
教養科目		【CP1】人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]							
		【CP2】基盤となる英語力を身につける 「Freshman English」「Sophomore English」「アカデミック英語」「Media English」 「時事英語」「ビジネス英語」「Oral Communication」「Language Lab」 TOEIC演習科目 など				【CP2】実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成 「English for Multicultural Communication」			
外国語科目	英語科目	【CP2】基盤となる英語力を身につける 「Freshman English」「Sophomore English」「アカデミック英語」「Media English」 「時事英語」「ビジネス英語」「Oral Communication」「Language Lab」 TOEIC演習科目 など				【CP2】実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成 「English for Multicultural Communication」			
	地域言語科目	【CP2】総合的な専攻語の運用能力を養う 「スペイン語基礎」				【CP2】より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養う 「スペイン語応用」「スペイン語総合」「ポルトガル語特講」			
研究科目	専攻指定研究科目	【CP3・4】各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する							
		導入(コース共通必修)	導入(コース共通)	研究コース	基礎(コース共通)	発展(コース指定、一部共通)	Topics in Language and Culture		
		「イペロアメリカ研究入門」	「イペリア史概論」 「ラテンアメリカ史概論」 「スペイン文学史」 「スペイン語学概論」	言語文化研究 「西洋古典語概論(ラテン語/古典ギリシア語)」 「スペイン語音声学」「スペイン語の歴史と地理」など 地域社会研究 「ラテンアメリカ政治論」「ブラジル研究入門」 「イペロアメリカの法と文化」「現代イペリア研究」など	「スペイン語圏マス・コミュニケーション論」「スペイン語通訳法Ⅰ」 「スペイン語映像翻訳法」「スペイン語学研究」など	「商業スペイン語」「メキシコ研究」「スペイン美術史」 「スペイン文化研究」「スペイン時事研究」など	1年次は研究コースの選択に向け、全コース共通の導入科目、基礎科目を中心に履修。2年次以降は、自身の選択した研究コースのコース指定科目を中心に履修		
研究科目(その他)	【CP3・4】学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目								
演習科目・卒業研究	演習科目					【CP4】学術的な観点から研究成果をまとめる(研究演習) 【CP4】実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる(応用演習) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」: 卒業研究(卒業論文・卒業制作)、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」: レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる			
	卒業研究					【CP4】[研究演習]の成果を「卒業研究」としてまとめる			
自由選択科目	選択外国語科目(中国語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語) キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当								

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的(育てたい人物像)
多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

イペロアメリカ言語学科 ディプロマ・ポリシー 【DP1~DP4】 (外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)~(7)と対応)

【DP1】より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)
①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)
①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力
②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

【DP3】「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイペロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)
①専攻言語が話される国・地域の歴史、文化、社会、政治、経済の特質を学ぶとともに、その多様性を尊重し、視野広い視野で共生のあり方を考察する力
②世界におけるイペロアメリカのあり方や役割を理解し、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

【DP4】「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」と、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)
①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力
②探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力
③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

イベロアメリカ言語学科 ブラジル・ポルトガル語専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基盤教育科目		【CP1】大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」: アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ(基礎)」						
	教養科目	【CP1】人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]								
外国語科目	英語科目	【CP2】基盤となる英語力を身につける 「Freshman English」 「Sophomore English」 「アカデミック英語」 「Media English」 「時事英語」 「ビジネス英語」 「Oral Communication」 「Language Lab」 TOEIC演習科目 など				【CP2】実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成 「English for Multicultural Communication」				
	地域言語科目	【CP2】総合的な専攻語の運用能力を養う 「ポルトガル語基礎」				【CP2】より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養う 「ポルトガル語応用」 「ポルトガル語総合」 「スペイン語特講」				
研究科目	専攻指定研究科目	【CP3・4】各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する								
		導入(コース共通必修)	導入(コース共通)	研究コース	基礎(コース共通) 「ブラジルの歴史」 「ブラジルの民族・地理」 「ポルトガル語概論」 「ポルトガル語圏の世界」 「ポルトガル語学研究」など	基礎(コース共通、コース指定)	発展(コース共通)			
		「イベロアメリカ研究入門」 「ブラジル研究入門」	「イベリア史概論」 「ラテンアメリカ史概論」 「ブラジルの歴史」など	言語文化研究 地域社会研究	「西洋古典語概論(ラテン語/古典ギリシア語)」 「ロマンス語学概論」 「スペイン語学概論」 「スペイン語の歴史と地理」 「現代ラテンアメリカ文学」 など 「ラテンアメリカ政治論」 「イベロアメリカの法と文化」 「ブラジルの宗教・社会」 「ブラジルの文化・芸術」 「ブラジルの政治・経済」 「現代イベリア研究」 など	「ポルトガル語通訳・翻訳法」 「ポルトガル語圏総合研究」 「Topics in Language and Culture」	1年次は研究コースの選択に向け、全コース共通の導入科目、基礎科目を中心に履修。2年次以降は、自身の選択した研究コースのコース指定科目を中心に履修			
研究科目(その他)	【CP3・4】学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目									
演習科目・卒業研究	演習科目					【CP4】学術的な観点から研究成果をまとめる(研究演習) 【CP4】実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる(応用演習) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」: 卒業研究(卒業論文・卒業制作)、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」: レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる				
	卒業研究					【CP4】[研究演習]の成果を「卒業研究」としてまとめる				
自由選択科目	選択外国語科目(中国語 ス페인語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語) キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当									

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的(育てたい人物像)
多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

イベロアメリカ言語学科 ディプロマ・ポリシー 【DP1~DP4】 (外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)~(7)と対応)

【DP1】より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)
①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)
①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力
②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

【DP3】「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイベロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)
①専攻言語が話される国・地域の歴史、文化、社会、政治、経済の特質を学ぶとともに、その多様性を尊重し、視野広い視野で共生のあり方を考察する力
②世界におけるイベロアメリカのあり方や役割を理解し、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

【DP4】「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」と、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)
①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力
②探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力
③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

イペロアメリカ言語学科			
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	イペロアメリカ言語学科 ディプロマ・ポリシー	イペロアメリカ言語学科カリキュラム・ポリシー（教育内容）	科目群
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」を修得するため、以下のカリキュラムを提供する。 1年次から2年次に「基盤教育科目」として「基礎演習I、II」「キャリアデザインI（基礎）」を配置する。「基礎演習I、II」では大学での学び(特に教養科目、研究科目、演習科目)をより深化させ、効果的に機能させるために「アカデミック・ライティング」「デジタル・シブズンシップ」「クリティカル・リーディング」「数的思考」及び「キャリアデザイン」に関する能力を修得するための機会を提供する。 「キャリアデザインI（基礎）」では過去・現在・未来に繋がる個人のキャリア形成を学問と社会との接続の視点から継続的に学ぶ力(生涯学習力)を涵養するカリキュラムを編成する。また、各年次に「外国語科目(選択外国語科目)」及び「教養科目」を配置し、12程度の言語のほか、人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶカリキュラムを提供する。	科目群 基盤教育科目
		②「専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力」 ①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力 ②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力 ③言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の外国語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 <スペイン語、ブラジル・ポルトガル語> 卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当に到達することを目標とする。 <英語(全専攻共通)> 卒業までにCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当以上に到達することを目標とする。 各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。	教養科目
(2)高度な言語運用能力		(2)-1「専攻言語(スペイン語、ブラジル・ポルトガル語)の高度な運用能力」を修得するため、各年次に「地域言語科目」を配置する。1年次から2年次では、専攻言語の基礎を徹底的に学ぶためのトレーニング科目により、総合的な専攻語の運用能力を養うカリキュラムを提供する。3年次から4年次では、通訳・翻訳・討論・スピーチ等を取り入れた実践科目や国内外のさまざまなテーマを扱うコンテンツベース科目により、より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養うカリキュラムを提供する。 (2)-2「国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力」を修得するため、1年次から2年次では「Freshman English」、「Sophomore English」、「アカデミック英語」、「Media English」などの科目を通じて、基盤となる英語力を身につけるカリキュラムを提供する。また、3年次から4年次では、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「English for Multicultural Communication」などの科目を通じて、実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成するカリキュラムを提供する。	地域言語科目
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイペロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」 ①専攻言語が話される国・地域の歴史、文化、社会、政治、経済の特質を学ぶとともに、その多様性を尊重し、広い視野で共生のあり方を考察する力 ②世界におけるイペロアメリカのあり方や役割を理解し、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力	(3)「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイペロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」を修得するため、各年次に「導入」「基礎」「発展」の「専攻指定研究科目」を配置する。同時に「言語文化研究」及び「地域社会研究」に区分された研究コースよりいずれか1コースを選択して指定の研究科目を履修することにより、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得するカリキュラムを提供する。また、専攻内の研究コース、あるいは学科専攻の枠を超えて幅広く学ぶことができるようカリキュラムを編成する。	英語科目
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢			学科指定研究科目
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」と、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「専攻指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目(その他)」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。	研究科目(その他)
(5)論理的かつ批判的な思考力	①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力 ②探求心をもち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力 ③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力		演習科目
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力			卒業研究

<技能別語学到達目標>

スペイン語専攻

スペイン語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の新聞、エッセー、メール、ビジネス文書などを読み、理解することができる。 ・専門的なテーマも含め、抽象的ないし具体的な内容からなる複雑な文の趣旨を理解することができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ラジオのニュースや番組内の会話を理解することができる。 ・日常的な事柄から大学の講義等の専門的な内容まで、地域的なバリエーションを含め、発話を理解することができる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題や相手の関心事項に合わせた会話や討論ができる。 ・ディスカッションでは、多様な意見を尊重しつつ、積極的に意見交換をすることができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・自国を含めた世界の社会・文化について論理的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的及び言語使用場面に応じた発言ができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・論文を書いたり、報告書や企画書を作成できるようになる。 ・個人的に関心のある話題や社会的・文化的な事柄について、反対意見や少数意見の長所と短所を示しつつ、論理的な文章を書くことができる。
検定等		DELE B1以上、スペイン語技能検定3級以上を目指す CEFR B1-B2レベル相当

ブラジル・ポルトガル語専攻

ポルトガル語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル語の新聞、エッセー、メール、ビジネス文書などを読み、理解することができる。 ・専門的なテーマも含め、抽象的ないし具体的な内容からなる複雑な文の趣旨を理解することができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ラジオのニュースや番組内の会話を理解することができる。 ・日常的な事柄から大学の講義等の専門的な内容まで、地域的なバリエーションを含め、発話を理解することができる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題や相手の関心事項に合わせた会話や討論ができる。 ・ディスカッションでは、多様な意見を尊重しつつ、積極的に意見交換をすることができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・自国を含めた世界の社会・文化について論理的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的及び言語使用場面に応じた発言ができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・論文を書いたり、報告書や企画書を作成できるようになる。 ・個人的に関心のある話題や社会的・文化的な事柄について、反対意見や少数意見の長所と短所を示しつつ、論理的な文章を書くことができる。
検定等		ブラジル教育省「外国人のためのポルトガル語検定試験」〈中級〉以上を目指す CEFER B1-B2レベル相当